

日本とベルギーにおける社会的広域圏形成のプロセスに関する研究

清水, 李太郎

<https://hdl.handle.net/2324/1806792>

出版情報：九州大学, 2016, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（2,3）

氏名	清水李太郎			
論文名	日本とベルギーにおける社会的広域圏形成のプロセスに関する研究			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	坂井 猛
	副査	九州大学	教授	南 博文
	副査	九州大学	准教授	趙 世晨
	副査	九州大学	准教授	外井 哲志

論文審査の結果の要旨

本論文は、田園地帯と市街地が混在するベルギーと日本の地方都市を対象として、都市部と地方部を結ぶ鉄道交通の移動コストを軽減するシステムの導入、生活道路におけるサイクルポイントの設置、複数の自治体と住民の関与による広域景観計画の策定、空き地や空き家の活用などの都市に潜在する余剰空間に着目して、広域圏の発展のプロセスに関する理論的枠組みを提示している。これにより、都市部と地方部を一つの生活圏として若年層の多様な社会的ニーズを充足させ、新しい余暇活動の機会を創出して地方部の生活の質の向上に貢献し、多様な社会的交流と連帯意識を形成して広域圏における新しい発展の可能性を示すとともに、都市部と地方部間の移動と交流の促進及び地域再生への発展的展開が社会的広域圏の形成に繋がったことなど、都市部と地方部の再編に関する重要な指摘を行っており、都市計画学に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。